

はばたけ

瑰地
GOOD MORNING
中山

中
山
會
N
G
H

種を蒔けば自ら芽を出し、光と雨により喜しく成長を約束される。雑草と作物との戦いがここに始まる。作物は耕作によ

に分けへだてなく生産者
してくれる。ここに土
に求めらるものすべくに、
豆が約束されでいると
思ふ。どうしに渡意で畑へくりて考える
と、現状は厳しいの一語である。オーナーに
革取りがある。稚草は手受けはあつと
言つ間にのびてしまい、又、肥沃になれ
ば、加速度的に益草、生産性を下げる
さらば滋大な地力が需要となる。次に種

(連載)
障害者の村づくり
白沢安男

(2) 共感・共同を築く
すず、地域に「土着」して、「地域の人々」との共感・共同を築いていくことをついて考えてみよ。

20

民主主義的に再生しないのです。

それは、全く、寧なことではありません

この前まで、市民の中に盛んに流れていた「三つのC」は、カー・クーラー・カーテレビでした。マイホーム主義もひきこもっていました。その中で、古来共同生活は家庭主義で、どちらも会う少し、お互いによい

「いや、草との廻いだね。」白蛇は
わけへどなく誰にもさびしいよし「白
金会との廻いだよ」——これが、私たちの
心の底からくるやう。

从つて、村には、珍重いに多く知り合
った人間関係があり、そこから育つ芸能
の力がありました。古い芸能体は、生産と村の族権維持の中に、そうしたこ

に個人は、さすがに辛い、もの牛に没してしまったのかのようでした。そして現在、「旧三」とかわる「新三」は、カルチャーや文化コミュニケーションなど、共同研究・共同性などのクリエイティビティ

しかし、そのへから、確かに、其威、
其肩は育つていくのだな——といふ予感
があります。
然立しあつて人格（個人の自己）を実
現するにしても、中庸を見つけ、自分を

わしらが村じゅし」という其感をベースに置いていいのです。しかし、反面、個人の独立がそこなわれ、社会性の欠如へ大きな社会問題への無関心、無理解へ至る現象も、少くないところです。

六、(創立後)はもうです。「ふれあれ
しくつろぎ」か、「叫ばれているのぞ
行政・自治体で、「ねづくり」町で
くらし「村みこし」をスローガンにし
て、

社会的に組織する上で可能な限り想い

私たちの「めぐす会」も、間々ながら
地を耕せし、一〇〇坪近くの土地から
様々な野菜を収穫し続けています。

意味がこれでいいです。

曲云作業特集

北齊書

去る七月三日、まあ氣のきの星暁の中で
ジャガイモ畠りが行なされました。お供は
の中日には植えられたあいものは、高木さん
御夫婦の御父兄により、肥やしのたりと
こうはのびのびと、足りないとこうはそ
れなりに、難草もよく採つてもらい、見

No 7 柏木障害者
登録責任者
柏木市大町15-18
癡行日 88.1.18

ハサード

6月24日~25日

見兩生機

薬師町店1周年フェア
ご来店・ご参加

- ・イチゴミルク) 飴毛
・玉藻ミルク)

25日は雨天の中止
このため売上げはいま
いちに終りました

9月18日(日)

華南生協
10周年工了一張

八廿一、參加會議

- ・イエゴミルク
 - ・ジャガバタ
 - ・芋魁、山芋、芋々



顧端 東子

はるねちゃん
の巻

当は、人並み時間どとの相応もあり、
体の半分位しか増れずせんこじしが、
少たりませて150kgと目測とおもした。
どちらにちは、小さなまで一生懶く育
らし、大きいかが、熊の形とか、目と耳
せう喜んでいました。肝心の味の方は、
自決先生に依りますと、ジャガイモで、
体の者が高麗漬にいよいよがするうううう
食べ比べてみると、普通のや生揚げ
はレバフローリングですが、豚肉のお
もは漬合食事が多く、ホクホクした
のよりジャガイモだとうです。自信と
おつて取扱できます。今、おもいは食
先生定で熟練していきます。ころあいを
て何キロかづく袋つりにして取扱して
いく予定です。

障害者は平和でなければ生きられない!!
平和行進に参加しよう!

7月14日(木)午後3:30～対市交渉 午後5:00～不和行進